

第11次徳島県交通安全計画(案)に対するパブリックコメント意見

ご意見・ご提言等

<提言①>

交通安全対策や交通事故対策の一環として、信号柱に添架された「交差点名標識」の設置を各道路管理者が公安委員会と連携して推進して頂きたい。

交差点名標識は地図やカーナビに反映され、現在位置や場所の特定が容易となり、地理に不慣れな運転者にとって重要な道しるべになります。急ブレーキや脇見運転等による交通事故防止、災害時においても地点特定などに役立ち、観光地や店舗への案内にも活用され、地方創生にも資するものと思われま。

設置に当たっては、判読性に優れる文字サイズ30cmを基本とし、交差点名は住所表示(〇〇丁目等)は避けて、一般的に分かりやすい地名とすることとして下さい。信号更新時等においては信号柱の強度や信号基礎が交差点名標識の設置を可能とする構造となるよう公安委員会と十分に調整して頂きたい。

この交差点名標識は四国内でも徳島県内が特に整備が進んでおらず、判読さえ出来ないものも散見されます。

今回の交通安全計画の改正に併せて、交差点名標識の整備が促進されるよう各道路管理者と公安委員会の連携が図られるよう強く望んでおります。

<提言②>

歩行空間のバリアフリー化では、横断歩道での視覚障害者の安全な通行を確保するエスコートゾーンの整備を促進して頂きたい。また、エスコートゾーンが設置された横断歩道は縁石の一部を縁端段差0ですり付け、車いす利用者等の安全な通行につなげて下さい。なお、コストがかさむエスコートゾーンに代えて、横断歩道にスリット(溝)を設けて白杖の先端で対岸へ誘導する視覚障害者誘導溝を試験施工し全国に先駆けて導入を検討してほしい。

横断歩道前での一時停止をしないといった交通マナーの悪さが目立ちます。マナー向上につながる取り組みをお願いします。

高齢者の免許返納が進むよう公共交通機関の運行充実を希望します。

事故危険箇所の対策として、エリアの絞り込みにAIを活用した取り組みをけんとうしてはいかがでしょうか？

ITSやVICSといった用語が出てきますが用語解説があった方が分かりやすいと思いました。

急な進路変更や黄色信号から赤信号に変わるときの無理な走行など運転マナーの悪さが目立ちます。マナー向上に向けて取り組んでください。

最近、ペーパードライバーを卒業して、車の運転を始めました。まだまだ不慣れで申し訳ないなと思いつながら運転していますが、怖い思いをすることがあります。初心者マークや高齢運転者マークの車に対しては、みんなが思いやりをもった運転を心掛けられるよう徳島県の「マナー向上」に取り組んでほしいです。

山間部の過疎地域で生活する者にとって車は必要不可欠なものです。年令を重ねると、気を付けていても、周りから見て、運転がおぼつかないことがあるのだろうとは思いますが。今後、高齢化が進んでいく世の中では、高齢者に限らず急がせない、慌てさせない、思いやりを持った運転を県民が心がけることができるよう取り組んでいただきたい。

最近、高齢者によるアクセルとブレーキの踏み間違い事故が起こったという報道をよく目にします。確かに私も車を運転しますが、「はっ」とする時がこれまでと比べて多くなってきたような気がします。そろそろ免許返納を考える時期かもしれませんが、徳島では車がないとどうしても不便で、なかなか返納するに至りません。免許返納後も今までと変わらない生活ができるだけ保てるような、施策を考えていただけるとありがたいです。